

第1表の2

学校名 鷹南学園三鷹市立中原小学校

2 教育目標

(1) 学校の教育目標

健康で心豊かな明るい子どもを育てる。

◎自分で考える子（今年度の重点） ○思いやりのある子 ○健康でたくましい子 ○よく働く子

令和6年度は学校の教育目標の達成に向け、自己調整力の育成に重点をおいた教育活動を推進する。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 自分で考える子の育成（確かな学力）

(ア) 児童が生涯にわたり学び続ける自立的な学習者となることを目指す。児童が自己の学習課題や成果を明らかにし学習の仕方を選択したり、意欲的に学習に取り組めるよう教師が動機付けしたりしながら、学習を調整しようとする力を育てる。

(イ) すべての児童が資質・能力の三つの柱をバランスよく身に付けられるよう、各教科における見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むとともに、学習用タブレット端末を効果的に活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

(ウ) 児童が自己決定することを大切にした教育を行う。そのためには、自己表現できるよう家庭と連携し言語環境を整えながらコミュニケーション力も高める。常に自分の考えをもち、自分の言葉で伝え、課題解決しようとする児童を育成し、よりよい生活を自ら築き・意欲的に生活できるようにする。

イ 思いやりのある子の育成（豊かな心・人間力）

(ア) 多様な他者との交流や豊かな体験活動の中で、多様な意見や考えを尊重する経験を通し、相手の立場に立って考え行動する力や、互いを認め合い助け合っていく力を育てる。

(イ) 児童を取り巻く環境すべてにおいて道徳教育及び人権教育を行い、道徳性を養うとともに人権尊重の精神に基づき、いじめや偏見、差別のない望ましい人間関係の確立を図るとともに、思いやりの心をもち、よりよい行動をとろうとする規範意識を育み、社会全体でよりよい生活を実現しようとする心の教育の充実を図る。

オ 健康でたくましい子の育成（健康・体力）

(ア) 心身ともに健康で、やる気に満ちた生活を送ることができるよう、自身の健康状態に関心をもち、自ら生活習慣の向上を図ることができるよう、健康を管理する力を身に付けさせる。

(イ) 体力テストの調査結果とその分析から、学校や学年、個人の課題に応じた取り組みを行う。日常的に運動に親しむ態度を育てながら体力を向上させるとともに、オリンピック・パラリンピック教育の成果を生かしてスポーツへの関心を高める。

(ウ) 不安や悩み、ストレスへに対処する力を身に付けさせるとともに、自分が困ったときに助けを求める力を身に付けさせ、自ら心の健康を保ち、安定した生活を送ることができるようにする。

カ よく働く子の育成（協働・社会力）

(ア) 地域社会とのかかわりを通し、社会や集団の一員としての自覚を育てるとともに、地域のよさを知り、地域社会をよくするために行動しようとする態度を育てる。

(イ) 学校行事や学級活動、体験活動などにおいて、一人ひとりが役割を果たすことによる成功体験や達成感を味わわせる。試行錯誤しながらあきらめず粘り強く取り組んだり、「やればできる」という自信につながる経験をさせたりして、自分のよさを認識させ、自己肯定感を高めるとともに自己実現しようとする児童を育成する。

キ チーム学校の推進

(ア) すべての児童が安心して充実した学校生活を送れるよう、一部学年担任制を実施し、多くの目で児童を見守り育てるとともに、教員の経験や力量による学級経営力・授業力の差の解消を図り、安定した質の高い教育を行う。

(イ) 子供たちの豊かな学びを実現するため、学校が家庭・地域社会、多様な経験や専門性をもった人財、関係機関等と連携して、課題の解決を図る。

(ウ) 教職員の職務の精選・慣習の見直しをし、教育の質の向上を図る。

ク 社会に開かれた教育課程

- (ア) 学校とCSをはじめとした保護者・地域が、育てたい児童、育成すべき資質・能力について課題・目標を共有化し協働しながら、地域資源・地域人財を活用し教育活動の質の向上を図る。
- (イ) 児童が自ら目標をもって生活することに課題が見られたため、教育活動全体において自己調整力の育成に重点をおくこととする。キャリア・パスポートを活用し自身の変容や成長を自己評価し、保護者とも共有しながら学習を進める。
- (ウ) 総合的な学習の時間を中心としたカリキュラム・マネジメントの実施について、学園版カリキュラムをより効果的に活用するため、見直し・改善を図りながら、児童が地域資源を生かした学びや、長期休業中等において児童が自立的に課題解決する学習を進める。

(3) 学園の教育目標を達成させるための学校としての重点

- ア すべての児童が学年に応じよりよい学校づくりにかかわることで、主体的に社会に参画する態度を養う。
- イ 東台小学校と連携した学びを充実させるために、教員同士の連携の仕方や学習内容・方法等を十分に検討し、計画的な実施を図る。
- エ 相互乗り入れ授業の効果的な実施に向け、ねらいや役割を明確にし、児童・生徒の学習効果の向上を図る。
- ウ 学園研究と連動した校内研究を実施し、研究の取組を生かした日常的な授業改善を図る。
- オ 学校3部の推進に向け、学校施設の活用推進を図るとともに、保護者・CSや地域、関連団体等が連携・協働し、地域をつなぐ拠点となる学校づくりを推進する。